

平成24年度

事務事業評価表(平成23年度の実績評価)

記入年月日
平成 24 年 4 月 16 日

事務事業名		南学校給食センター調理用原材料購入事業				区分		事務事業No.	30113303
						<input type="checkbox"/>	分野別主要事業	課内No.	3
		政策体系上の位置付け				<input checked="" type="checkbox"/>	未来プロジェクト事業	事務事業主管課	
政策体系	総合計画の施策名	301 学校教育の充実				<input type="checkbox"/>	市長マニフェスト事業	所属部	教育委員会
	政策名	3	豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくり			<input type="checkbox"/>	合併建設計画事業	所属課	南学校給食センター 33
	施策名	1	学校教育の充実			<input type="checkbox"/>	新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	課長名	笠倉 剛
	基本事業名	1	安心安全な教育環境づくり			<input checked="" type="checkbox"/>	単独事業 <input type="checkbox"/> 補助事業	グループ	南学校給食G
		財務会計上の位置付け				事業期間		担当者名	藤田 俊江
予算科目	会計	款	項	目	事業	一般会計		<input type="checkbox"/>	単年度のみ
	1	10	1	4	3	南学校給食センター事業		<input checked="" type="checkbox"/>	単年度繰返し (年度～)
法令根拠						<input type="checkbox"/>	期間限定複数年度(年度～年度)		

【Do】 1. 事務事業の現状把握 ▶ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

事務事業の概要(事務事業の内容、担当者が行う業務の内容、手順、事業費の内訳等。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事務事業の内容】
・安全安心な給食を提供し、より良い原材料を安価で調達することを目的として北・南給食センターで原材料を共同購入するための献立・物資検討会、献立作成会議を毎月1回実施している。

【担当者が行う業務の手順】
・献立・物資検討会等開催通知作成及び資料作成。

【事業費の内訳】
・人件費のみ

(1) 事務事業の目的			
①手段(23年度 実際に行った主な活動)	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	単位
・毎月1回、北・南学校給食センターの栄養士による献立作成会議を開催し、その内容に基づき毎月1回、北・南学校給食センター職員、学校関係者による献立物資検討会を開催し、その結果を踏まえた市内統一献立による安全安心安価な給食提供を行った。		ア 栄養士による献立作成会議 イ 献立物資検討会議	回 回
②対象(誰、何を対象にしているのか)	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
献立物資検討会議に参加した給食センター職員及び各学校等給食主任者		ア 給食センター職員数 イ 各学校給食主任者	人 人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	単位
・限られた予算内で安全安心そして多彩な内容の献立による給食提供を目指し、原材料選択を効率的に行う。		ア 検討会で出された意見	件
④結果(どんな結果に結び付けるのか)	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
・安全安心で費用対効果が大きな給食の提供により、子どもたちの健康増進に寄与することができる。		ア 給食内容についてのクレーム数	件

(2) 指標値の推移									
区分	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(計画)	25年度(計画)	28年度(目標)	
⑤活動指標	ア 回	11	11	11	11	11	11	11	
	イ 回	11	11	11	11	11	11	11	
	ウ								
	エ								
⑥対象指標	ア 人	12	10	7	8	8	8	8	
	イ 人	11	11	11	11	11	11	11	
	ウ								
⑦成果指標	ア 件	11	11	11	11	11	11	11	
	イ							0	
	ウ								
⑧上位成果指標	ア 件	0	0	0	0	0	0	0	
	イ								

(3) 投入量(事業費)の推移		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	28年度	期間限定総投入量
事業費	国庫支出金	千円							
	県支出金	千円							
	地方債	千円							
	使用料・手数料	千円							
	その他	千円							
	一般財源	千円							
人件費	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	2
	延べ業務時間	時間	614	614	592	443	443		
	人件費計(B)	千円	1,931	1,860	1,800	1,347	1,347	0	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,931	1,860	1,800	1,347	1,347	0	0

(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
旧真壁町・大和村で昭和42年に設置した「筑ろく地方学校給食組合立学校給食センター」が、平成17年10月1日町村合併により、桜川市南学校給食センターとなった。以来真壁大和地区の小学校6校中学校3校幼稚園2園に安全安心で美味しい給食を提供している。

(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
給食費はできるだけ有効に使ってほしい。日本の味めぐりや世界の味めぐりなど珍しい献立を知ることができて大変参考になりました。

事務事業名	南学校給食センター調理用原材料購入事業	事務事業No.	30113303	所属課	南学校給食センター
-------	---------------------	---------	----------	-----	-----------

【See】 2. 評価の部 * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

評価項目	
目的 妥当性	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?) ・市の基本政策「豊かな心と生きがいを育む教育・文化環境づくり」の桜川市未来プロジェクト・明日を支える人づくりプロジェクトで「食育普及事業」は重点事業とされている。この事業は「食育普及事業」の一環なので結びついている。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?) ・桜川市未来プロジェクト・明日を支える人づくりプロジェクトで「食育普及事業」は重点事業とされているので公共関与は妥当である。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である
	③ 対象・意図の妥当性 (対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?) ・実際に学校給食に携わっている給食センター職員、学校関係者が対象となっていて、献立作成に関わっている所以对象・意図は適切である。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である
有効性	④ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?) ・現在献立物資検討会議はセンター職員と学校関係者の意見交換の場にもなっており、一定の成果を上げている。現状で十分役割を果たしている。 <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) ・南学校給食センターの主要業務である学校等への給食提供に多大な影響を及ぼすので、廃止・休止はできない。 <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) 他に手段がある <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる
効率性	⑦ 事業費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)) ・納入された給食費はすべて原材料費として使用しているので削減の余地はない。 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 (やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?) ・延べ業務時間は会議を円滑に進めるうえで必要最低限の時間であり、内容も正職員以外の職員や委託で行うべきものではない。 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?) ・真壁・大和地区の小中学校の児童生徒、園児に安全安心な給食を提供するための事業なので、受益機械・費用負担とも適正である。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	献立作成会議、献立物資検討会を開催したうえで適切に原材料の購入を行った。給食センター栄養士が作成した献立に学校関係者や実際に調理作業を行う調理員の声も反映されているので、現状維持の事業継続が望ましい。																					
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																					
(3)-1 改革改善策	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○	×																		
	低下		×	×																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>
(3) 2次評価における改革改善案	(4) 2次評価における指摘事項